

算数科教育にかかわる現状と課題

部長 長谷川 義郎

1 算数科教育の動向

○ 上越地区

上越市では「思考力・判断力・表現力を高める授業」について、学習指導改善調査研究事業の協力校である飯小学校在授業公開を行い、成果と課題を報告した。柏崎市刈羽郡では、市教育センターの事業である研修会等に協力し、教師の授業力向上を図った。糸魚川市では、市教委と共催で外部講師を招き、「優れた授業に学ぶ会」を開催した。各郡市とも、筑波大附属小学校等から講師を招いて師範授業を行うなどより実践的な研修が増え、授業改善が加速しているように思える。

○ 中越地区

長岡市三島郡では、「算数的活動により、算数のよさを実感し、主体的に取り組む算数教育」を具現するため、関原小学校で授業公開をし、全会員で成果と課題を共有した。魚沼郡市では「学ぶ楽しさや有用感を育む」、十日町市中魚沼郡では「活用力を育む」、三条市南蒲原郡では「伝え合う力を伸ばす」をテーマに授業研究を中心に取り組んだ。見附市では、今町小学校の吉川良一教頭を講師に、インターネット上に公開されているデジタル教材の活用について実践的な研修を深めた。

○ 下越地区

新発田市では「子どもが主体的に取り組む算数指導」、五泉市では「授業力向上を目指して」をテーマに授業研究を行った。また、両市とも、新しい教科書の改訂ポイントについて、編集者を招いて講演してもらった。村上市岩船郡では「思考力・表現力を育成する指導」をテーマに、指定授業実践研究校の村上小学校において授業を公開し、成果と課題について協議した。

○ 新潟地区

新潟市では「課題解決に向けての見通しのもとせ方」を副題とし、5つのブロックに分かれ、授業研究を中心とした研修を行った。新潟市立浜浦小学校では、県小教研の指定研究（2年次）に取り組んだ。研究主題を「数学的な考えを高め、表現力を鍛える授業づくり」と設定し、副題を「問いが生まれ発展する授業構成と学習作文の書かせ方の工夫」として、県外から授業コンサルタントを招き、授業診断及び授業評価を受けるなどして教師の授業力向上を図っている。

2 算数科教育の課題

- 各郡市とも授業研究を核とした実践的な研修が増えてきた。算数的活動の充実を図るとともに、筋道を立てて考えることだけでなく、結果やその手順を言葉、数、式、図、表、グラフを用いて表現させるとともに、それを授業の中で意図的にかかわらせ、個々の学びを深めていく授業を行う必要がある。